２０２５年度春入学者対象

福岡女子大学大学院人文社会科学研究科
言語文化専攻・社会科学専攻
【博士前期課程】
案内

（付）２０２５年度春入学者対象 福岡女子大学大学院人文社会科学研究科
言語文化専攻・社会科学専攻【博士前期課程】
学　生　募　集　要　項
（一般選抜入試・社会人特別選抜入試・留学生特別選抜入試）

公立大学法人
福岡女子大学

〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1丁目1番1号
電話（092）661-2411（代表）
URL　http://www.fwu.ac.jp/

目　次

I.　福岡女子大学の沿　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

II.　福岡女子大学大学院人文社会科学研究科　博士後期課程のアドミッション・ポリシー ・・ ・・１

III.　福岡女子大学大学院人文社会科学研究科　博士後期課程の構成と教育体制の特徴・・・・・・・２

１　構成　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

２　教育体制の特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

３　履修方法と修了要件　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

４　社会人の入学について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

５　長期履修制度　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

６　指導教員の研究領域と主な研究内容　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

７　講義等の内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

８　交通案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８

（付）　２０２５年度春入学対象 福岡女子大学大学院人文社会科学研究科
言語文化専攻・社会科学専攻【博士前期課程】学生募集要項
（一般選抜入試・社会人特別選抜入試・留学生特別選抜入試）

○　入学願書、受験票

○　研究志望調書

○　入学者選抜出願資格認定申請書

○　受験許可書

○　在職期間証明書

○　入学考査料振込依頼書

※２０２４度秋入学について
両専攻とも実施をいたします。２０２４年度秋入学者対象 福岡女子大学大学院人文社会科学研究科
言語文化専攻・社会科学専攻【博士前期課程】学生募集要項をご覧ください。

１ 福岡女子大学の沿革

福岡女子大学の前身は、大正 12（1923）年にわが国最初の公立女子専門学校として設置された福岡県立女子専門学校（文科、家政科）です。昭和 25（1950）年、第二次世界大戦後の学制改革により、4 年制の大学に昇格して福岡女子大学となり、当初は学芸学部（国文学科、英文学科、生活科学科）のみの単科大学として発足しましたが、昭和 29（1954）年に文学部（国文学科、英文学科）と家政学部（家政学科、家庭理学科）の 2 学部構成となりました。平成 5（1993）年に、大学院文学研究科修士課程（国文学専攻、英文学専攻）が開設され、平成 9（1997）年にはさらに英文学専攻の博士後期課程が設置されました。一方、家政学部は平成 7（1995）年に人間環境学部（環境理学科、栄養健康科学科、生活環境学科）に改組された後、平成 12（2000）年に、大学院人間環境学研究科修士課程（環境理学専攻、栄養健康科学専攻、生活環境学専攻）が設置されました。

平成 18（2006）年より公立大学法人福岡女子大学となって、さらに大学改革が推進され、平成 23（2011）年には新たに、国際化、多様化する社会で幅広く活躍できる女性リーダーの育成を基本理念とする 1 学部 3 学科体制の国際文理学部（国際教養学科、環境科学科、食・健康学科）が設置されました。この学部理念のもとに、既設の大学院 2 研究科を充実・発展させた新たな専門教育研究機関としての大学院人文社会科学研究科及び人間環境科学研究科が平成 27（2015）年 4 月に開設されました。

このように本学は開学以来の歴史と伝統をもち、その間に送り出した卒業生・大学院修了生は各方面で活躍し、広く社会に貢献しています。

２ 福岡女子大学大学院人文社会科学研究科博士前期課程の特色とアドミッション・ポリシー

（１）特色

本学の基本理念である「次代の女性リーダーを育成」を人文社会の学問領域から実現するため、人文社会科学研究科に「言語文化専攻」と「社会科学専攻」の２専攻を設置しました。グローバル化し、地域の文化、社会、経済、法が相互密接に影響し合う現代社会において、必要とされる専門的知識と実践的な能力を備えた高度専門人材を養成することが、本研究科設立の目的です。

言語文化専攻では、「日本言語文化コース」と「英語圏言語文化コース」の２つのコースを設け、日本と英語圏地域を対象に蓄積されてきた言語文化の知の総体を深く理解し、グローバルな視点で新たにそれを再構成する批判的な研究態度を修得します。

社会科学専攻では、「国際産業社会コース」と「国際関係コース」の２コースを設け、国際社会の広範かつ多様な現象を、経済活動と政治的側面から解明し、それを実社会に適用しうる、高度専門人材を育成します。

具体的には、各コースの特色は次のとおりです。

<u>言語文化専攻</u>

＜日本言語文化コース＞

言語・文学・歴史を中心とした日本文化を研究対象とする。学際的手法および比較文学的手法を多く取り込むことによって、従来型の国文学研究とは異なる新たな視点を獲得し、複雑で多岐にわたる日本文化を総合的に研究する。グローバル社会を相対的に捉えることができる思考力と、日本文化を世界に向けて発信できる専門知識を持ち、文化交流や教育の場で活躍する人材を育成する。

＜英語圏言語文化コース＞

西欧の文化史を踏まえて、主に英語圏の言語文化と社会及び思想について共時かつ通時的な専門的知識を深めるとともに、文字や視覚文化を批判的に読解・解釈するための諸理論を学び、アジアに立つ知的教養人として、言語文化にまつわる諸問題を独創的に分析・解明する能力を養う。また、語学力をさらに向上させ、自らの分析やアイデアを地域社会や世界に向け、説得的に発信・提言しうる対話力を育成する。

<u>社会科学専攻</u>

＜国際産業社会コース＞

日本とアジアさらには欧米の経済社会をめぐる課題とその探究は重要な教育研究課題になっている。グローバルな経済や社会そしてその担い手である企業をめぐって生成するさまざまな現象を、理論と実証を通じて解釈し理解することを目指して教育研究を展開する。本コース履修により、産業社会で活躍する女性の高度専門人材や、研究・教育機関で活躍する専門人材の育成を目指す。

＜国際関係コース＞

国際社会は政治的、社会的、文化的にも複雑な様相を深めており、現代社会に問いかける諸問題の分析と現象を説明する理論の探求は重要になっている。このような問題に対して、政治を支える思想や価値観への哲学的な理解を促しつつ、法学や政治学、国際協力、社会学等の専門知識を統合して探究する。この履修コースを通じて、グローバル化する社会の各分野で活躍する高度専門人材や、研究・教育機関で活躍する専門人材の育成を目指す。

（2）アドミッション・ポリシー

高度な専門性を基に社会で活躍する女性リーダーや研究教育機関で研究教育者を目指す学部卒業生や社会人を募り、大学院で主体的に研究を遂行するために必要な研究能力、専門学力や国際的な教養を重視する。
特に、次のような能力・意欲を有する女子学生や社会人を求める。
⑴人文社会科学分野に関心が深く、自らを高める向上心に満ち、かつ知的好奇や創造性に富んでいること。
⑵研究に対し、積極的かつ主体的に取り組む姿勢を持っていること。
⑶人文社会科学に関する基礎学力や専門知識を有していること。
⑷文化や言語あるいは国際的な経済、政治、社会や企業活動等から生じる問題や現象の分析に関心が高いこと。
⑸研究成果を女性が活躍する男女共同参画社会の創生のために提案・還元する意欲を有すること。

専攻ごとのアドミッション・ポリシー（求める学生像）は以下のとおりである。
＜言語文化専攻＞
歴史や言語文化活動に強い関心と研究意欲をもち、研究遂行に必要な学力を有し、意志が明確な学生を募る。修了後に、専門知識を活かして、次代の女性リーダーとして国内外で文化を発信し広く活躍できる学生、教員の専修免許状を取得し教育の現場で活躍し指導的立場に立つことができる学生、研究者として研究活動を追求することができる学生を求める。

＜社会科学専攻＞
現代の国際社会のあり方や企業等の経済活動に積極的な関心をもち、大学院での研究活動を主体的に推進するために必要な専門知識の獲得に強い意欲をもつ学生を募る。修了後は、多様な進路において、高度な専門能力を基に次代の女性リーダーとして国際社会での活躍や専門的な研究活動や教育活動を追求することができる学生を求める。

＜入学者選抜の基本方針＞
・一般選抜入試・社会人特別選抜入試・留学生特別選抜入試
入学者の選抜は、筆記試験・面接のほか書類審査の結果等によって、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体的に研究に取り組む態度等について総合的に判断して行う。筆記試験では、研究を遂行する上で必要とされる語学能力及び表現力を評価する。面接では、当該分野の研究に対する熱意、希望する研究計画の妥当性、当該分野の研究に必要とされる学力や技能及びコミュニケーション・表現能力を評価する。

３ 教育課程の編成（※2024 年度情報）
人文社会科学研究科の教育課程は、国際文理学部での学部共通科目と専門科目を有機的に組み上げた少人数教育によるカリキュラムの基礎の上に、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要な能力を養い、もって本学の基本理念である「次代の女性リーダーを育成」を目指すべく編成している。この目的を実現するために、教育課程の編成において、専門科目のほかに、基本科目を設ける。（授業科目の詳細については、P4～P5 参照）
① 基本科目（選択・必修 4 単位以上）：研究倫理の心得や調査研究活動に必要なツールと発表技術は、専攻の如何にかかわらず、研究を志すものには必須の資質であり、それらを保証するために 8 科目を提供する。この中から、必修の「研究の倫理と方法」を含む 4 単位以上を履修するものとする。
② 専門科目（修士特別研究 8 単位を除き、選択 18 単位）：研究テーマを系統的に深めることができるよう、各専攻・コースに多彩な専門科目を準備している。両専攻とも、修士特別研究 8 単位を除き、18 単位以上（ただし、所属する各コースの科目から 12 単位以上）を選択履修するものとする。
③ 修士特別研究（必修 8 単位）：論文執筆に関する基礎的な知識・技術を身につける。
なお、言語文化専攻の専門科目内に、両コース共通の科目群を設け、言語文化研究の理念を実現するための専門的共通基盤を保証する。
同様に、社会科学専攻の専門科目内に、両コースに共通の「国際演習Ⅰ・Ⅱ」を必修科目として設け、学問分野を超えた議論の場を保証する。
修了要件は、本課程に 2 年以上在学し、30 単位（基本科目 4 単位、専門科目 18 単位(修士特別研究 8 単位を除く)、修士特別研究 8 単位）以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、特に優れた業績をあげた者については、1 年以上在学すれば足りるものとする。

4 教育職員免許状

言語文化専攻博士前期課程を修了し、所定の科目の単位を修得した者は、次の教育職員免許状を取得することができる。

専　攻　名	免許状の種類	教　科
言語文化専攻	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	国　語
	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	英　語

5 社会人の入学について

(1)社会人の受け入れ

生涯学習の一環として、大学を卒業し企業、教育機関、官公庁、各種施設等で活躍している社会人が、さらに高度な学識や技術を修得するために大学院へ進学しようとする機運が高まっている。本研究科では、このような向学の志を抱く社会人に積極的に応えるために、下記の特例措置をはじめ種々の履修方法を準備している。

(2)社会人のための特例措置について

教育方法の特例措置とは、現職教員、公務員、一般企業の社員、団体・施設の職員等の職を有する者、またはその他出産、介護等相当の事由があると認められる者が、夜間、土曜日または夏季・冬季休業期間中に本学授業を受講することができる措置のことである。ただし、この特例の適用を受ける場合においても、原則として1年次においては昼間開講の授業を履修しなければならない。

2 年次には、指導教員の承諾を得て、夜間その他特定の時間または時期に授業または研究指導を受けることができる。

6 長期履修制度

意欲ある社会人の入学を促進するために、入学時における自らの計画と申告に基づき、標準修業年限を超える年限で課程を修了することを認める「長期履修制度」を導入している。なお、「出産、介護等相当の事由があると認められる者」についても、これを認めている。

本制度を利用することで、標準修業年限の授業料により、博士前期課程では修業期間を最長 4 年間まで延長して、必要単位を修得し修士の学位を取得、博士後期課程では最長 6 年間まで延長して、必要単位を修得し博士の学位を取得することが可能である。

7　授業科目、担当者及び単位数（※2024年度情報）

人文社会科学研究科　言語文化専攻博士前期課程　授業科目

区部		授　業　科　目	担　　当　　者	年次	単位数
専門科目	日本言語文化コース	日本語教育特別研究	橋本　直幸	1・2前	2
		音韻・表記特別研究	坂本　浩一	1・2前	2
		日本語文法特別研究	坂本　浩一	1・2後	2
		日本史特別研究	渡邉　俊	1・2後	2
		古典文学特別研究Ⅰ	月野　文子(非常勤)	1・2前	2
		古典文学特別研究Ⅱ	月野　文子(非常勤)	1・2後	2
		古典文学特別研究Ⅲ	大久保　順子	1・2前	2
		近・現代文学特別研究	坂口　周	1・2後	2
		視覚文化特別研究	坂口　周	1・2前	2
		日本学特別演習Ⅰ	坂本、大久保、坂口	1前	2
		日本学特別演習Ⅱ	坂本、大久保、坂口	1後	2
		日本学特別演習Ⅲ	渡邉　俊	1前	2
		日本学特別演習Ⅳ	渡邉　俊	1後	2
		日本語教育実習	橋本　直幸	1・2後	2
		原典講読Ⅰ	大久保　順子	1後	2
		原典講読Ⅱ	坂本、渡邉	2前	2
		日本語学特別講義	山内　博之(非常勤)	1・2前	2
		漢文学特別講義	月野　文子(非常勤)	1・2前	2
		国文学特別講義	渡邊　英理(非常勤)	1・2前	2
	英語圏言語文化コース	英語圏文学と文化特別研究Ⅰ	長岡　真吾	1・2前	2
		英語圏文学と文化特別研究Ⅱ	宮川　美佐子	1・2前	2
		英語圏文学と歴史特別研究Ⅰ	長岡　真吾	1・2後	2
		英語圏文学と歴史特別研究Ⅱ	宮川　美佐子	1・2後	2
		英語と文化特別研究Ⅰ	村長　祥子	1・2前	2
		英語と文化特別研究Ⅱ	向井　剛	1・2前	2
		英語と歴史特別研究Ⅰ	村長　祥子	1・2後	2
		英語と歴史特別研究Ⅱ	向井　剛	1・2後	2
		英語圏文学・言語とジェンダー特別演習	長岡、ウォレン(非常勤)	1・2前	2
		西欧文化史特別研究	藤原　翔太(非常勤)	1・2前	2
		英語圏言語文化文献講読Ⅰ	宮川、長岡	1・2前	2
		英語圏言語文化文献講読Ⅱ	宮川、長岡	1・2後	2
		英語圏言語文化文献講読Ⅲ	村長　祥子	1・2前	2
		英語圏言語文化文献講読Ⅳ	村長　祥子	1・2後	2
		第二言語習得概論	桜井　静(非常勤)	1・2前	2
		英語圏言語文化特別講義Ⅰ	中村　理香(非常勤)	1・2前	2
		英語圏言語文化特別講義Ⅱ	牧野　理英(非常勤)	1・2後	2
		英語圏言語文化特別講義Ⅲ	城戸　光世(非常勤)	1・2後	2
	共通科目	比較文学研究Ⅰ	長岡　真吾	1・2前	2
		比較文学研究Ⅱ	大久保　順子	1・2前	2
		世界の中の日本伝統文化	Ｓ．ホルスト	1・2後	2
		漢字文化圏の比較文化史研究	河原　梓水	1・2前	2
		総合演習Ⅰ	言語文化専攻研究指導教員全員	1通	1
		総合演習Ⅱ	言語文化専攻研究指導教員全員	2通	1
		修士特別研究	長岡、坂本、ホルスト、大久保、宮川、村長、坂口、橋本、渡邉	1～2	8
基本科目		研究の倫理と方法	下條　恵子(非常勤)	1・2前	2
		歴史と社会	Ｓ．ホルスト	1・2前	2
		グローバル社会と英語	Ｎ．ウォレン(非常勤)	1・2後	2
		アカデミックライティング・プレゼンテーション	奥村　圭子(非常勤)	1・2後	2
		人文・社会統計学	藤村　まこと(非常勤)	1・2後	2
		国際研究活動	チョウドリ、宮崎、Jayasena、徐、橋本	1・2後	2
		デザイン思考	品川　啓介	1・2前	2
		リーダーシップ特別演習	平山　猛（非常勤)	1・2前	2

人文社会科学研究科　社会科学専攻博士前期課程　授業科目

区分		授　業　科　目	担　　当　　者	年次	単位数
専門科目	国際産業社会コース	産業社会解釈特別研究	未定	1前	2
		東アジア人口論特別研究	未定	1・2後	2
		マクロ経済学特別研究Ⅰ	梶田　知沙	1・2前	2
		マクロ経済学特別研究Ⅱ	梶田　知沙	1・2後	2
		ミクロ経済学特別研究Ⅰ	佐藤　秀樹	1・2前	2
		ミクロ経済学特別研究Ⅱ	佐藤　秀樹	1・2後	2
		国際経済学特別研究Ⅰ	白新田　佳代子	1・2前	2
		国際経済学特別研究Ⅱ	白新田　佳代子	1・2後	2
		経営学特別研究Ⅰ	柴田　聡	1・2前	2
		経営学特別研究Ⅱ	柴田　聡	1・2後	2
		国際経営特別研究Ⅰ	チョウドリ　マハブブル　アロム	1・2前	2
		国際経営特別研究Ⅱ	チョウドリ　マハブブル　アロム	1・2後	2
		人間関係論特別研究	鈴木　有美	1・2前	2
		東南アジア経済論特別研究Ⅰ	小西　鉄	1・2前	2
		東南アジア経済論特別研究Ⅱ	小西　鉄	1・2後	2
	国際関係コース	国際関係論特別研究Ⅰ	川上　耕平（非常勤）	1・2前	2
		国際関係論特別研究Ⅱ	川上　耕平（非常勤）	1・2後	2
		国際法特別研究Ⅰ	深町　朋子	1・2前	2
		国際法特別研究Ⅱ	深町　朋子	1・2後	2
		比較憲法学特別研究	未定	1・2後	2
		国際関係史特別研究Ⅰ	馬場　優	1・2前	2
		国際関係史特別研究Ⅱ	馬場　優	1・2後	2
		政治哲学特別研究	未定	1・2後	2
		グローバル協力論特別研究Ⅰ	Pathmasiri Jayasena	1・2前	2
		グローバル協力論特別研究Ⅱ	Pathmasiri Jayasena	1・2後	2
		国際社会学特別研究Ⅰ	徐　阿貴	1・2前	2
		国際社会学特別研究Ⅱ	徐　阿貴	1・2後	2
		ジェンダー特別研究	宮崎　聖子	1・2前	2
		比較社会特別研究	宮崎　聖子	1・2後	2
		比較地域文化特別研究	金　希京	1・2前	2
		文学・文化交渉特別研究Ⅰ	未定	1・2前	2
		文学・文化交渉特別研究Ⅱ	未定	1・2後	2
		国際機構論特別研究	未定	1・2後	2
		東アジア政治論特別研究Ⅰ	山根　健至	1・2前	2
		東アジア政治論特別研究Ⅱ	山根　健至	1・2後	2
		アメリカ政治特別研究Ⅰ	石神　圭子	1・2前	2
		アメリカ政治特別研究Ⅱ	石神　圭子	1・2後	2
		中東政治特別研究Ⅰ	近藤　洋平	1・2前	2
		中東政治特別研究Ⅱ	近藤　洋平	1・2後	2
		人権論特別研究Ⅰ	木村　貴	1・2前	2
		人権論特別研究Ⅱ	木村　貴	1・2後	2
	共通科目	国際演習Ⅰ	社会科学専攻研究指導教員全員	1通	1
		国際演習Ⅱ	社会科学専攻研究指導教員全員	2通	1
		修士特別研究	チョウドリ、宮崎、佐藤、鈴木、柴田、馬場、深町、Jayasena、木村、徐、山根、小西	1～2	8
基本科目		研究の倫理と方法	下條　恵子(非常勤)	1・2前	2
		歴史と社会	Ｓ．ホルスト	1・2前	2
		グローバル社会と英語	Ｎ．ウォレン(非常勤)	1・2後	2
		アカデミックライティング・プレゼンテーション	奥村　圭子(非常勤)	1・2後	2
		人文・社会統計学	藤村　まこと(非常勤)	1・2後	2
		国際研究活動	チョウドリ、宮崎、Jayasena、徐、橋本	1・2後	2
		デザイン思考	品川　啓介	1・2前	2
		リーダーシップ特別演習	平山　猛（非常勤）	1・2前	2

８　科目担当者の研究領域と主な研究内容（※2024年度情報）

言語文化専攻　＜日本言語文化コース＞

教　員　名	研　究　領　域	主　な　研　究　内　容
坂本　浩一	日本語学	・日本語の歴史に関する研究 ・日本語の語彙・語法に関する研究 ・地域言語・方言に関する研究
大久保　順子	日本古典文学	・散文（物語・説話・小説等）、韻文 ・近世文学、古典文学受容史研究
坂口　周	日本近代文学 日本現代文学	・近現代文学全般 ・理論・評論史 ・視覚文化論
橋本　直幸	日本語教育学 日本語学	・日本語教育のための語彙・文法の研究 ・第二言語としての日本語の習得研究 ・コーパスを用いた語彙・文法の研究
渡邉　俊	日本中世史	・刑事法史 ・武家政権成立史 ・宗教と社会
河原　梓水	日本近現代性文化史	・戦後日本雑誌メディア研究 ・暴力・合意・病理をめぐるセクシュアリティ研究 ・セックスワーク論

言語文化専攻　＜英語圏言語文化コース＞

教　員　名	研　究　領　域	主　な　研　究　内　容
長岡　真吾	アメリカ文学・文化	・米国の歴史／社会と文学・文化表象との相互作用 ・エスニシティ（民族性）と文化交雑
Ｓ．ホルスト	近世・近代の文化と社会（比較文化）	・比較文化 ・19 世紀の社会と文化 ・演劇・観光・祭り
宮川　美佐子	英文学	・近現代小説 ・前期モダニズム小説
村長　祥子	英語学	・古英語散文統語論 ・中世英語文献学

社会科学専攻　＜国際産業社会コース＞

教員名	研究領域	主な研究内容
チョウドリ マハブブル アロム	国際経営論	・日本企業の国際的経営組織 ・国際経営に関するアジア諸国での実証的考察 ・アジア企業に関する理論的分析 ・多国籍企業論 ・アジア産業 ・人的資源管理
佐藤 秀樹	経済政策	・政府の価値判断と貧困層への課税に関する理論的研究 ・ノンポイントソース汚染に対する環境政策
鈴木 有美	心理学	・人間関係 ・精神的健康
小西 鉄	東南アジア経済 東南アジア政治経済	・ビジネスと金融 ・経済と国家
柴田 聡	経営学	・組織ケイパビリティ・イノベーションマネジメント
白新田 佳代子	環境経済学 国際経済学	・産業連関分析 ・環境影響評価 ・産業構造の変化とエネルギー・環境の関係分析
梶田 知沙	理論経済学	・数理モデルを用いた経済政策の評価と設計

社会科学専攻　＜国際関係コース＞

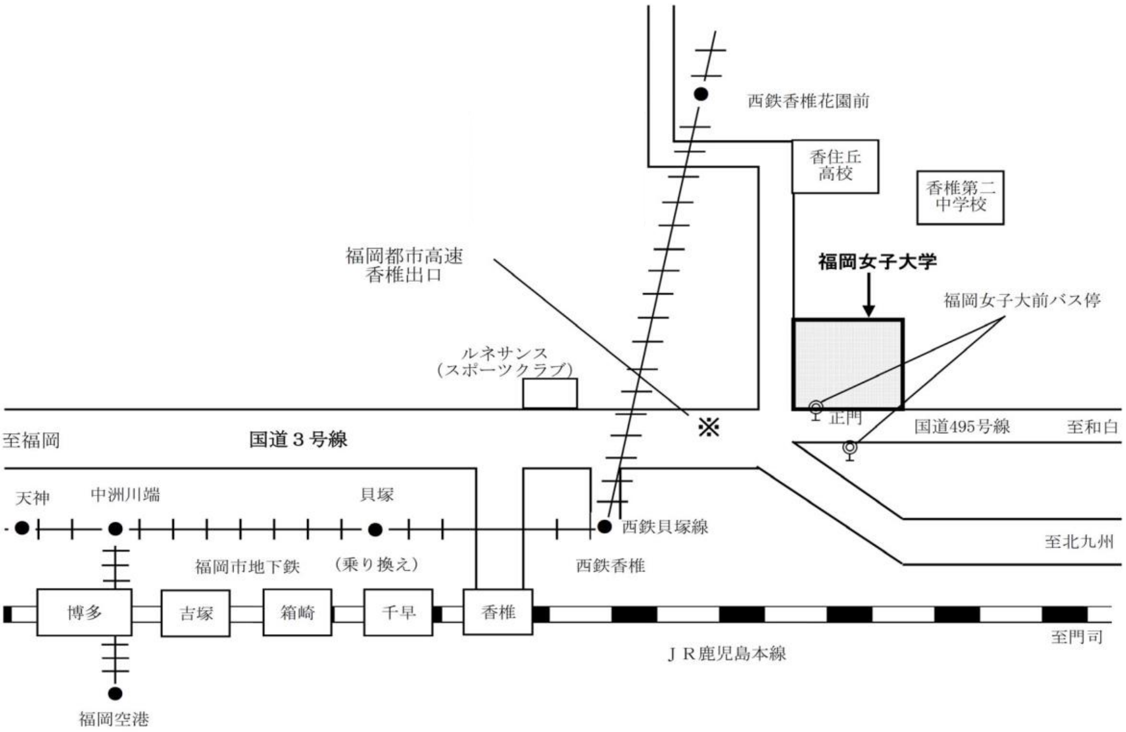
教員名	研究領域	主な研究内容
宮崎 聖子	ジェンダー研究 台湾地域研究 文化人類学	・ジェンダー ・文化/歴史人類学 ・台湾地域研究
馬場 優	国際関係史	・国際政治史 ・ヨーロッパ外交史 ・ヨーロッパ政治史
深町 朋子	国際法	・国家領域法 ・海洋法
Pathmasiri Jayasena	批判的安全保障論 平和研究	・グローバル協力・グローバル市民社会 ・国際化とアイデンティティ ・新興国の台頭とアジアの安全保障
木村 貴	人権法 比較政治学	・東アジアの民主化と人権 ・移行期の正義
徐 阿貴	国際社会学	・移民政策 ・移民コミュニティ ・マイノリティ運動 ・東アジア地域の女性移民
山根 健至	比較政治学	・東南アジア諸国の民主化と民主主義 ・安全保障や平和構築における非国家主体の役割り ・東アジア地域の地域的なガバナンス
金 希京	言語学	・バイリンガル教育・多言語・多文化共生 ・比較言語・文化
石神 圭子	政治学 アメリカ政治	・現代アメリカ政治 ・市民社会とデモクラシー ・ポピュリズム
近藤 洋平	中東地域研究 イスラム学	・中東・アフリカ地域研究 ・主にイスラムの思想と社会を研究

研究領域（研究志望調書記入用）（※2024年度情報）

言語文化専攻	日本言語文化コース	日本文学（古典）
		日本文学（比較文学）
		日本史学
		日本語学
		日本語教育学
	英語圏言語文化コース	英語学
		イギリス文学
		アメリカ文学
		英語圏文学
		文化研究
社会科学専攻	国際産業社会コース	経済政策
		心理学
		国際ビジネス・マネジメント
		経営学
		東南アジア経済
	国際関係コース	国際関係論
		政治学
		国際法学
		国際社会学
		ジェンダー研究
		比較文化
		比較社会
		人権論

※研究志望調書の研究領域は上記の表から選ぶこと。

9　交通案内



<table>
<tr><td colspan="4">◎ＪＲ香椎駅から徒歩約 15 分（ＪＲ香椎駅には停車しない特急列車もあるので注意してください）
◎天神方面からの地下鉄利用は、福岡市地下鉄「貝塚駅」で西鉄貝塚線乗換え「西鉄香椎駅」下車徒歩約１２分、「香椎花園前駅」下車　徒歩約１０分
◎西鉄バス「天神中央郵便局前」乗車、「福岡女子大前」下車
（天神から約１５分【都市高速経由】：下表参照）</td></tr>
<tr><td>系統番号</td><td>始発・経由</td><td>所要時間</td><td>行　　　先</td></tr>
<tr><td>２１Ａ</td><td>天神中央郵便局前
【都市高速経由】</td><td>１５分</td><td>雁の巣レクリエーションセンター、
志賀島小学校前</td></tr>
<tr><td>２３Ａ</td><td>天神中央郵便局前
【都市高速経由】</td><td>１５分</td><td>西鉄三苫駅</td></tr>
<tr><td>２５Ａ</td><td>天神中央郵便局前
【都市高速経由】</td><td>１５分</td><td>志賀島小学校前</td></tr>
<tr><td>２６Ａ</td><td>天神中央郵便局前
【都市高速経由】</td><td>１５分</td><td>赤間営業所、新宮中央駅東口・IKEA 前、
光陽台六丁目、津屋崎</td></tr>
<tr><td>２１</td><td>天神中央郵便局前</td><td>３３分</td><td>雁ノ巣レクリエーションセンター</td></tr>
<tr><td>２３</td><td>西公園・天神中央郵便局前</td><td>３３分</td><td>西鉄三苫駅、大蔵・高美台
※香椎照葉センターマークス前行き、下原行は福岡女子大前に停車しませんので注意してください。</td></tr>
<tr><td>２６</td><td>天神中央郵便局前</td><td>３３分</td><td>赤間営業所</td></tr>
</table>

(付)２０２５年度春入学者対象 福岡女子大学大学院
人文社会科学研究科言語文化専攻・社会科学専攻【博士前期課程】
学生募集要項（一般選抜入試・社会人特別選抜入試・留学生特別選抜入試）

1　募集人員

専 攻 ・ 課 程	募集人員		
	一般選抜入試	社会人特別選抜入試	留学生特別選抜入試
言語文化専攻博士前期課程	4　人		
社会科学専攻博士前期課程	4　人		
合　計	8　人		

2　出願資格
次の各号の一に該当する女子が出願できる。（但し、(1)(2)(3)の併願は不可。いずれか一つを選択して出願すること。）

(1) 一般選抜入試
① 大学を卒業した者及び入学時までに卒業見込みの者（学校教育法第 102 条）
② 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者（学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 1 号）及び入学時までに授与される見込みの者
③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者（学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 2 号）及び入学時までに修了見込みの者
④ 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の 16 年の課程を修了した者（学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 3 号）及び入学時までに修了見込みの者
⑤ 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者（学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 4 号）及び入学時までに修了見込みの者
⑥ 外国の大学等において、修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者（学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 4 号の 2）及び入学時までに授与される見込みの者
⑦ 指定された専修学校の専門課程を修了した者（学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 5 号）及び入学時までに修了見込みの者
⑧ 旧制学校等を修了した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号第 1 号～第 4 号、昭和 30 年文部省告示第 39 号第 1 号）
⑨ 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号第 5 号～第 12 号、昭和 30 年文部省告示第 39 号第 2 号）及び入学時までに修了見込みの者
⑩ 大学院において個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時までに 22 歳に達するもの（学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 8 号）

※ 上記⑩の出願資格で出願する者は事前審査を行うので、12ページの「出願資格の事前審査について」を参照すること。

(2) 社会人特別選抜入試
入学時点で 2 年以上の社会人経験を有し、上記(1)の①から⑨のいずれかの出願資格を有する者

※ なお、⑩の出願資格で出願する者は事前審査を行うので、12ページの「出願資格の事前審査について」を参照すること。

(3) 留学生特別選抜入試
日本の国籍を有しない女子で、次の各号の一に該当するものが出願できる。
① 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び入学時までに修了見込みの者
② 外国において、学校教育における 16 年の課程に準ずる課程を履修した者及び入学時までに履修見込みの者
③ 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した後、我が国において大学を卒業した者及び入学時までに卒業見込みの者
④ 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した後、我が国において大学に 3 年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認められた者
⑤ 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時までに 22 歳に達するもの

※ 上記④、⑤のいずれかの出願資格で出願する者は事前審査を行うので、12ページの「出願資格の事前審査について」を参照すること。

３　試験日

秋季試験　2024年９月２８日（土）

春季試験　2025年２月９日（日）

４　試験場

福岡女子大学（福岡市東区香住ヶ丘１－１－１）

交通機関については、9ページを参照すること。

５　試験科目　※夏季試験、春季試験とも同じ試験科目、同じ時間帯で実施する。

言語文化専攻　　博士前期課程			
区　分	10:00～12:00(120 分)		13:30～
一般選抜入試	筆記問題	・英語 ・専門分野	面接試験 ＊
社会人 特別選抜入試		・＜日本言語文化コース＞小論文 ＜英語圏言語文化コース＞英　語 ・専門分野	
留学生 特別選抜入試		・＜日本言語文化コース＞小論文（日本語による） ＜英語圏言語文化コース＞英　語 ・専門分野	

＊英語圏言語文化コース志願者は、英語による口頭試問を含む。

社会科学専攻　　博士前期課程			
区　分	10:00～12:00(120 分)		13:30～
一般選抜入試	筆記問題	・英語 ・専門分野	面接試験
社会人 特別選抜入試		・＜国際産業社会コース＞小論文 ＜国際関係コース＞外国語（英語、中国語、韓国語から１つ選択） ・専門分野	
留学生 特別選抜入試		・小論文（日本語または英語による） ・専門分野	

６　出願期間

秋季試験　2024年８月１９日（月）～ ８ 月２３日（金）１７ 時まで必着

春季試験　2025年１月１０日（金）～ １ 月２０日（月）１７ 時まで必着

7　出願手続

入学志願者は、次の書類を「６出願期間」の期間内に本学アドミッションセンターに提出すること。

出願書類を郵送するときは、必ず書留速達とし、封筒表面に「大学院人文社会科学研究科博士前期課程入学願書」と朱書きすること。なお、提出された出願書類及び納入金は、原則として返還しない。また、出願書類に不備があるものは、受理しない。（該当書類が英語以外の外国語表記の場合、必ず和訳文または英訳文を添付すること。）

(1)　入学願書及び受験票

本研究科所定様式（本要項に添付）を使用のこと。

(2)　研究志望調書

本研究科所定様式（本要項に添付）を使用のこと。

(3)　成績証明書（英語以外の外国語表記の場合、必ず和訳文または英訳文を添付すること）

出身大学の学籍原簿の写し又はそれに相当する単位取得を証明するもの。（要厳封）

(4)　最終学校の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書

（英語以外の外国語表記の場合、必ず和訳文または英訳文を添付すること）

(5)　卒業証書、学位書（英語以外の外国語表記の場合、必ず和訳文または英訳文を添付すること）

原本あるいはコピーを提出すること。

(6)　卒業論文又はこれに代わるもの（以下、「論文等」という。コピー可、原則として返却しない。）志願する専攻に関する論文等があれば、これを入学願書に添えることができる。

（英語以外の外国語表記の場合、必ず和訳文または英訳文を添付すること）

(7)　入学考査料

入学考査料は 30,000 円。納入方法は、銀行窓口での振込「電信扱」に限る。納入後は、原則として返還しない。本要項最終ページの入学考査料振込依頼書を切り離し、太枠で囲まれている記入欄に必要事項をすべて黒ボールペンで正確・明瞭に記入し、Ａ・Ｂ・Ｃ票を切り離さず銀行へ持参すること。ただし、振込手数料は志願者負担。振込の後、銀行窓口で返還されたＢ・Ｃ票のうち、Ｃ票(「福岡女子大学(大学院)」入学考査料振込金受付証明書)を、入学願書裏面の入学考査料振込金受付証明書貼付欄に貼り付けること。

(8)　写真（2 枚）

たて 4cm×よこ 3cm、正面上半身、無帽、無背景、出願期間以前 3 ヶ月以内に撮影したもの 2 枚を、それぞれ入学願書、受験票に貼付すること。

(9)　受験票返信用封筒

返信用封筒（長形 3 号 120mm×235mm）に郵便番号、住所、氏名を記入し 84 円切手を貼付すること。

(10) 在職期間証明書（社会人特別選抜入試志願者のみ）

本研究科所定様式（本要項に添付）を使用のこと。

(11) 受験許可書（すべての入試区分において、現職のまま入学を希望する者）

本研究科所定様式（本要項に添付）を使用のこと。会社及び官公庁・教育機関等に勤務している者で現職のまま入学しようとする者は、受験についての所属長の許可書を提出すること。

◎　出願資格の事前審査について

10 ページ「2 出願資格 (1)⑩ または (3)④、⑤」のいずれかにより出願しようとする者についての「大学を卒業した者と同等以上の学力」の認定は、次により行う。なお、必要のある場合は学力検査、面接等を行う。

(1) 提出書類

書　類　等	摘　　要
ア．入学者選抜出願資格認定申請書	本研究科所定の様式によること。
イ．「７出願手続」に定める書類 （但し、入学考査料を除く。）	本募集要項「７出願手続」に定める書類 （入学考査料は提出しないこと。）

上記ア及びイは、一括して提出すること。なお、郵送する場合は必ず書留速達とし、封筒表面に「大学院人文社会科学研究科出願書類及び出願資格認定申請書在中」と朱書きすること。

(2) 提出期間

秋季試験　2024年７月２２日（月）～7月２６日（金）１７ 時まで必着

春季試験　2024年１２月２日（月）～12月６日（金）１７ 時まで必着

(3) 認定の結果

認定の結果は、次の期日までに本人に郵便又は電話で通知する。

秋季試験　2024年８月２日（金）

春季試験　2024年１２月２０日（金）

※ 認定された者は、11ページ「６出願期間」の期間内に 12ページ「７出願手続 (6)入学考査料」に記載する方法により入学考査料を納入すること。

8　合格発表

秋季試験　2024年１０月４日（金）

春季試験　2025年２月１４日（金）

合格発表日の10時頃、本学車両正門横の掲示板に掲示するとともに、合格者には本人あてに郵送で通知する。 なお、本学のウェブサイトにおいても合格者の受験番号を掲載する。ただし、公式の合格発表については、必ず本学掲示又は合格通知書で確認すること。電話による合否の問い合わせは一切受け付けない。

9　入学手続

(1) 入学手続期間

秋季試験合格者　2024年１０月８日（火）～ 10 月１５日（火）１７ 時まで必着

春季試験合格者　2025年２ 月１８日（火）～ ２ 月２６日（水）１７ 時まで必着

（郵送の場合、必ず書留速達とし、秋季試験合格者は10 月１５日（火）17時までに、春季試験合格者は ２ 月２６日（水）１７ 時までに必着のこと）持参の場合、受付時間は ９ 時から１７時までとする。土・日・祝日は行わない。上記期間中に手続を完了しない場合、入学を辞退したものとして取り扱う。

(2) 提出書類

ア．誓約書（本研究科所定のもの　合格通知書と同封して発送する。）

イ．住民票（留学生特別選抜入試については、市町村長が発行する在留資格及び在留期間を明記したもの。出願者以外の世帯員については証明不要）

ウ．外国人で入学許可が出国の要件となっている国外在住者については、外務省在外公館又は日本国政府の承認した外国政府その他の発行する留学資格証明書・紹介状・推薦書等

エ．その他必要書類等は、合格通知とともに通知する。

(3) 納入金（2024年度の額であり、一部変更になる場合がある。）

入学料	県内の者	282,000 円
	県外の者	520,000 円
授業料	半 期 分	267,900 円(年額 535,800 円)

※　入学手続では入学料のみの納入となります。

※ 入学料について「県内の者」とは、(ア)入学しようとする者の生計の主たる維持者が入学しようとする年の前年の３月１日から入学許可の日まで引き続き福岡県内に居住している者、(イ)入学しようとする者の生計の主たる維持者が勤務等の事由により県外居住者であっても、入学者を含む家族の大半が(ア)に掲げる期間中福岡県内に居住している者をいう。

なお、上記の県内居住については、住民票が期間中県内にあるかどうかにより判断する。「県外の者」とは、上記以外の者をいう。

※　在学中に授業料の額の改定が行われた場合には、改定後の授業料の額が適用されます。

※ 令和 5 年 7 月 7 日からの大雨及び令和 6 年能登半島地震により被災した福岡女子大学志願者の入学料及び入学考査料について免除の特例措置を実施します。

詳しくはURL をご覧ください。http://www.fwu.ac.jp/exam_info/2025/

(4) 入学手続場所

福岡女子大学 アドミッションセンター　〒813-8529　福岡市東区香住ヶ丘 1 丁目 1 番 1 号

TEL　092-692-3100

(5) その他不明な点は、下記まで問い合わせること。

福岡女子大学 アドミッションセンター　〒813-8529　福岡市東区香住ヶ丘 1 丁目 1 番 1 号

TEL　092-692-3100

◎　障害がある入学志願者の事前相談

障害がある入学志願者で、受験上および修学上配慮を必要とする者は、相談に応じますので、事前にアドミッションセンター（092-692-3100）にご相談ください。

◎　留学生への支援制度（2024年度実績）

留学生として本学大学院に入学した者（県外に限る）には、その入学時の成績等により、入学金が半額となる制度及び入学後の研究計画書の内容と面接により、授業料が半額となる制度があります(ただし、制度を利用できる人数には限りがあります)。また、本学に設置されている学生寮に入寮することもできます(ただし、入寮できる人数には限りがあります)。

◎　試験結果の開示

試験結果は受験者本人に限り、アドミッションセンターにおいて開示します。期間は、秋季試験は2024年９月9 日（月）から９月４日（火）、春季試験は2025年４月１日(火)から4月１４日(月)までです。ただし、いずれも9 時から１７時までとし、土・日・祝日は開示を行いません。開示を申請する際には、本大学院入試の受験票をお持ちください。

◎　個人情報の取り扱いについて

(1)　出願書類等に記載された氏名、生年月日、住所及び入学者選抜において取得した成績等の個人情報については、入学者の選抜、合格発表お及び入学手続等の入試業務を行うために使用します。

(2)　入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入試の改善等のために使用します。

(3)　上記の個人情報は（１）及び（２）の目的以外では、本学の関係職員以外への提供は行いません。

２０２５年度春入学者対象 福岡女子大学大学院人文社会科学研究科　【博士前期課程】　入試日程

秋　季　試　験	
出 願 期 間	2024年８月１９日（月）～ ８ 月２３日（金）１７ 時まで
試　験　日	2024年９月 ２８ 日（土）
合 格 発 表	2024年１０月４日（金）
入学手続期間	2024年１０月８日（水）～ １ ０ 月１５日（水）１７ 時まで

春　季　試　験	
出 願 期 間	2025年１月１０日（金）～ １ 月２０日（月）１７ 時まで
試　験　日	2025年２月９日（日）
合 格 発 表	2025年２月１４日（金）
入学手続期間	2025年２月１８日（月）～ ２ 月２６日（水）１７ 時まで

福岡女子大学大学院人文社会科学研究科入学願書（博士前期課程）

志望専攻・コース名 （いずれかを〇で囲むこと）	言語文化専攻 （日本言語文化コース　・英語圏言語文化コース）	社会科学専攻 （国際産業社会コース　・国際関係コース）
選抜の区分 （いずれかを〇で囲むこと）	一般選抜入試・社会人特別選抜入試・留学生特別選抜入試	
フリガナ		受験番号：※記入しないこと。
氏名		国籍：※留学生のみ記入すること。
生年月日	昭和・平成　　年（西暦　　年）　月　日（満　　歳）	
現住所	〒 電話（　　）　　―　　E-mail　　@	
保証人 （続柄）	氏名 （　　）	住所 電話（　　）　　―
年　月	履歴事項（高等学校卒業から記入すること。職歴含む。留学生は小学校から記入）	
		写真貼付欄 写真はたて4cm、よこ3cmの大きさ 正面上半身無帽無背景で出願前3ヶ月以内に撮影したもの 受験票と同じ写真を貼付すること
合格通知の送付先住所	〒　　電話（　　）　　―	

※　履歴事項記入欄が不足する場合は任意の別紙に記入して添付すること

切り取らないこと

福岡女子大学大学院人文社会科学研究科入学受験票（博士前期課程）

フリガナ		写真貼付欄 写真はたて4cm、よこ3cmの大きさ 正面上半身無帽無背景で出願前3ヶ月以内に撮影したもの 入学願書と同じ写真を貼付すること
氏　　名		
受験番号	※記入しないこと。	
試験日程 （いずれかを〇で囲むこと）	2024年 9 月 28 日（土）／ 2025年 2 月 9 日（日）	
志望専攻・コース名 （いずれかを〇で囲むこと）	言語文化専攻 （日本言語文化コース　・英語圏言語文化コース）	社会科学専攻 （国際産業社会コース　・国際関係コース）
選抜の区分 （いずれかを〇で囲むこと）	一般選抜入試・社会人特別選抜入試・留学生特別選抜入試	
外国語	※社会科学専攻 国際関係コース　社会人特別選抜入試志望者のみ受験する外国語を一つ囲むこと。 英語　　中国語　　韓国語	

入学考査料振込金受付
証明書貼付欄

試験科目	筆記試験	10：00～12：00	面接試験	13：30～

受験上の注意

１．この受験票は試験当日必ず携帯し、試験室では机上におくこと。

２．やむを得ない理由で遅刻した場合、30 分以内であれば受験を認める。

３．試験開始の 10 分前に試験室に入室すること。

研究志望調書

<table>
<tr><td rowspan="2">氏名</td><td>ﾌﾘｶﾞﾅ</td><td rowspan="2">志望専攻・コース名※1</td><td>言語文化専攻</td><td>社会科学専攻</td><td>受験番号</td><td>※記入しないこと。</td></tr>
<tr><td></td><td>日本言語文化コース
英語圏言語文化コース</td><td>国際産業社会コース
国際関係コース</td><td>研究領域</td><td>※3</td></tr>
<tr><td colspan="2">選抜の区分　※2</td><td colspan="5">一般選抜入試　・　社会人特別選抜入試　・　留学生特別選抜入試</td></tr>
<tr><td colspan="7">これまでの研究課題とその内容</td></tr>
<tr><td colspan="7">志望の動機</td></tr>
</table>

※1～2の欄は、該当する項目を○で囲むこと。
※3は9ページの研究領域を参考にすること。

これからの研究課題とその内容

入学者選抜出願資格認定申請書

福岡女子大学大学院人文社会科学研究科博士前期課程に出願したいので、事前審査をお願いします。

年　　　月　　　日

氏名

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

住所

〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

最終卒業（修了）機関名

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

卒業（修了）年月日

＿＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日

受　験　許　可　書

福　岡　女　子　大　学　長　殿

受験者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

生 年 月 日　　　　　　　　年　　　月　　　日

上記の者が、福岡女子大学大学院人文社会科学研究科博士前期課程の入学試験を受験することを許可します。

年　　　月　　　日

所属機関等住所（所在地）及び電話番号

〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電 話 番 号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所属機関等名

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所 属 長 名

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

※複数枚の証明が必要な場合は様式をコピーしてご使用ください

在　職　期　間　証　明　書

現住所　〒　　　　－

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

受験者氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所属機関名（事業所名）	
職　　種	
在職期間又は在職した期間	自　　年　　月　　日 至　　年　　月　　日

証明年月日　　　　年　　月　　日

住所（所在地）〒　　　　－

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

勤 務 先 名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

職　　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

※複数枚の証明が必要な場合は様式をコピーしてご使用ください

＜入学考査料振込依頼書＞

切り取り

切り取り

A票

振 込 依 頼 書

(「福岡女子大学（大学院)」入学考査料)

ご 依 頼 日	科 目	
年 月 日	電 信 扱	手数料 円
振込先	福岡銀行 香椎支店	金 額	3 0 0 0 0 円
受取人 預金種目	普 通	口座番号 2732681	
(フリガナ)	フクオカジョシダイガク		
(おなまえ)	福岡女子大学		
依頼人（志願者） 氏名（フリガナ）			
(おところ)	(電話)		

出納印

※【取扱金融機関へのお願い】
1．収納印はA・B・C票の3ヶ所にもれなく押印してください。
2．B・C票は、必ず依頼人へお返しください。
3．振込手数料は、志願者に負担していただくことになります。

(取扱金融機関保管)

(金融機関で切り離してください)

B票

振込金受取書

(「福岡女子大学（大学院)」入学考査料)

	年 月 日
金 額	3 0 0 0 0 円
振込先	福岡銀行 香椎支店
受取人	フクオカジョシダイガク 福岡女子大学
志願者氏名	(フリガナ)
手数料	

出納印

(志願者保管)

(振込後C票は切り離しのうえ、指定された貼付欄に貼りつけてください)

C票

「福岡女子大学（大学院)」入学考査料
振込金受付証明書

	年 月 日
金 額	3 0 0 0 0 円
振込先	福岡銀行 香椎支店
受取人	フクオカジョシダイガク 福岡女子大学
志願者氏名	(フリガナ)

出納印

(入学考査料振込金受付証明書貼付用)